

問 こもれびの森の
運営の検証と質向上を

昨年のももれびの森の入館者数と運営費は。利用者からはどのような意見が出ているか。さらなる教育・文化環境の充実を目指し、サービスや運営の質向上が必要と考えるが今後の取り組みは。また財政が厳しい中、施設で自主財源を確保する事が必要ではないか。

答 今後も施設のサービス
充実を図っていく

開館から1年間の入館者は延べ26万人、運営費は約8千3百万円である。利用者からの意見により、館内フロア図等を設置した。今後も有資格者を適正に配置し、更なるサービス向上を図っていく。自主財源の確保では、雑誌スポンサー制度を広く周知していく。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)



白岡駅西口の駅前広場

問 西口駅前広場の
整備の進展を

白岡駅西口駅前広場の整備の進捗はどうなっているか。西口駅前には市の玄関口として十分な交流空間が確保されておらず、安全性にも大きな課題がある。長年の課題となっているが目に見える進展が必要だ。着実な推進のため目標設定と進捗管理が必要ではないか。

答 西口駅前広場の
早期整備を目指していく

西口駅前広場については、地権者の皆様の御理解、御協力をいただきながら、事業用地の確保に努めていく。整備にあたっては、国庫補助の活用を調査研究のうえ、利用状況などに配慮し、工区分けを含め、工事の範囲や順序などを検討していく。

問 こもれびの森まつりは

こもれびの森まつりの実施状況は。次に、パンフレットを改良する点があるが、次回に向け周知など、どのように考えているのか。次に、こもれびの森まつりの実行委員会を設立する予定はないか。また、今後どのように展開していくのか。

答 共催団体等と連携し、
まつりを開催する

シルバー人材センター、社会福祉協議会、図書館ボランティアとの共催により実施した。パンフレットは、各団体と調整し、内容の見直し、配布方法を改善する。実行委員会設立は難しいが、共催団体と連携し、ボランティアの協力を得ながら運営する。



江原浩之 議員
(無所属)



水路の適切な維持管理を望む

問 三ヶ村落堀の浚渫を

三ヶ村落堀が、市街地の雨水排水の要となる水路である。この三ヶ村落堀の状況は。次に、気象が変化する中、水路の適切な維持管理が必要である。今後も多発する自然災害に備え、三ヶ村落堀の浚渫を行う必要があるが、どのように考えているのか。

答 国の財政支援制度を
活用し進めていく

三ヶ村落堀は、整備から40年余り経過しており、土砂等の堆積や雑草等が繁茂している状況は認識している。台風19号により河川氾濫等の被害が相次いだため、浚渫における国の財政支援制度が創設される見込みである。制度を有効に活用し浚渫を進めていく。